

美里区長会、益富区長会とすずき雅博県議会議員との要望活動



美里区長会要望活動

益富区長会要望活動

今年度は、美里区長会と国道301号の歩行者用信号機設置と益富区長会と国道301号の4年連続となる事業化決定の要望、そして広川自治区と歩道新設の要望活動に愛知県豊田加茂建設事務所行って参りました。



地域の皆さまと課題に取り組んでいます

- 美里中学校前道路修繕
- 荒田交差点の歩道拡幅
- 森町の路肩排水路整備
- 古瀬間町の河川整備

美里中学校前の道路と歩道が老朽化によって通行に支障が出始めています。段差を無くし修繕をして、皆さんが安全に通行できるようにしていく必要があります。

荒田交差点に毎日子ども達が通学で通りますが、歩道の中が狭いため交差点を渡りきるのに数回信号が変わってしまいます。子どもの安全のため歩道の拡幅が必要です。

森児童館から八柱神社に向かう道路では、歩道の横に路肩排水路施設がないため、雨水がいつもたまり歩道が水浸しになっています。対策が必要であると考えます。

矢作川の川淵が崩れかけているため、集中豪雨があった場合に氾濫の恐れがあります。早急に対策をしていかなくてはならないと考えます。



ふれあい集会

今年もふれあい集会をスタートしました！一年間を通じてどこでも開けるように変更しましたので、是非皆さまの地域にお呼びください。



五ヶ丘東西支部

泉支部

大見支部

市政のご意見・相談はこちらまで -みなさまのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください-

TEL (0565) 89-7515 FAX (0565) 85-8295

WEB <https://mizuno-hirofumi.jp/> E-mail letter@mizuno-hirofumi.jp

【水野ひろふみ後援会事務所】 〒471-0805 豊田市美里6丁目6-6 ミタチ家具内

何でも目安箱

家具センターミタチ入口の目安箱に投函ください。

豊田市議会議員 発行 令和2年1月 水野ひろふみ後援会 発行人 柴田隆広

第12号

水野ひろふみレター



繋ごう！地域力

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

いよいよ、令和2年がスタートしました。今年は、東京2020オリンピック・パラリンピック大会が開催される年になります。オリンピックを目指している選手はもちろんのこと日本中の、そして世界中の人々が世紀の大会を楽しみにしています。大会を盛り上げるために開催される聖火リレーでは、4月7日に豊田市駅前ロータリーをスタートし、私たちの地元である豊田スタジアム・西イベント広場まで聖火が運ばれ、この日の最後のセレブレーション会場として、聖火リレーを盛り上げるイベントが開催されます。昨年、私は、聖火リレーが、ここ豊田に誘致されることを切に願ひ、これについて質問させていただきました。現実に開催される運びとなった、聖火リレーが、私達、とりわけ子供たちに、どんな印象を残し、思い出として語り継がれていくかが楽しみです。

新しい年を迎えるにあたり、今年の言葉を「百折不撓(ひやくせつふとう)」と致しました。これは「何度失敗しようとも目指した目標を忘れずに突き進みあきらめずにことに励む」という意味が込められています。私たちが住む高橋南部(美里・益富)地域を、年代を問わず誰もが安心して暮らせる『福祉のまち』になるよう目指し、2020年も元旦から頑張って始動します。



豊田市議会議員 水野ひろふみ

豊田市長を表敬訪問しました

毎年恒例となりました美里・益富区長会の皆さまと、太田市長へ表敬訪問を致しました。地域の取組等の区長さんの話を、市長も真剣に受け止めて頂きました。その後、建設部と地域課題について話し合いました。



美里区長会

益富区長会

12月定例議会の一般質問に立ちました

質問の趣旨 台風19号は、想定される雨量を超え広範囲に被害を及ぼしました。このような台風や大雨への意識を私たちは根底から変えていかなくてはなりません。今後、自分の命を守る行動のためには、様々な方法で情報を集める、ソフト対策での速やかな情報共有をしていく必要があります。台風などの降雨災害時の情報収集に役立つ本市が進めている防災ラジオの普及促進と活用方法を質問します。

質問1 矢作ダム再生事業の概要と河川整備の効果について

答弁1 洪水ピーク時に十分な洪水調節機能を確認するため、放流能力を毎秒1,300m³から毎秒2,500m³に増強する放流トンネルを新設するもので、東海豪雨と同規模の洪水を想定した場合、ダムの放流能力の増強と、ダム下流の河川整備により、ダムから河口までで想定される約55,200世帯、約7,900ヘクタールの浸水被害が解消されると国土交通省から聞いている。

「答弁：建設部長」

質問2 本市の防災行政無線での取組と課題について

答弁2 同報系無線は、市内の屋外拡声子局に音声による避難に関する情報などの緊急放送に活用し、移動系無線は、市役所、支所、消防関係機関、避難所に設置し、通信が途絶えたときの伝達手段として活用する。更に、緊急防災放送が自治区の放送設備からも自動で流れ、難聴エリアの解消になっている。課題は、山間地域の難聴エリアや暴風雨時に屋内で聞こえづらいことがあげられる。

「答弁：地域振興部長」

質問4 防災ラジオ機能の重要性について

答弁4 防災ラジオは、緊急情報などが自動で起動し、室内で容易に受信することが可能。また、配信エリアを細分化しており、全市的な緊急情報を一括配信する「全市一括」や「越水危険地域」、地域情報の配信を想定した「支所エリア」などへの配信が可能。防災ラジオのこれらの機能により、情報を必要とする度合いの高い方々、また、携帯電話などを利用できない方々へも直接かつ効果的に情報を届けることができる。

「答弁：地域振興部長」



質問5 地域放送の全市展開に向けて今後の本市の取り組みについて

答弁5 防災ラジオは、自治区単位で地域情報が放送でき、中学校区単位で放送する事も可能。防災ラジオを活用した地域情報を放送する環境は、全市的に整っている。防災ラジオを活用した地域情報の放送は地域活動の支援につながるもので、住民理解や防災ラジオの普及率などが一定の水準に達した地域は、具体的な運用ルールについて、地域と各支所とで十分な協議を行い、当該地域の支援につながるようラジオの活用に取り組む。

「地域振興部長」



質問3 防災ラジオ普及の傾向について

答弁3 市全体で8.3%。旧町村地区の普及率が高いが、旧市内地区でも災害リスクの高い一部の地域でも同様な傾向がみられる。

「答弁：地域振興部長」

質問6 防災ラジオ補助金の延長提言と防災ラジオの今後について

答弁6 防災ラジオは、自治区のアンケートの結果や地域情報の活用からも、効果的な情報伝達の手段と考えている。今後は、防災ラジオの普及率を向上させ、河川の氾濫や土砂災害などの災害の危険性が高い地域など、ターゲットを絞った普及促進を行う。また、エリアを特定して地区や世帯に情報を直接かつ効果的に伝達できる防災ラジオの機能を有効活用し、地域情報による地域づくり、コミュニティ活性化に効果をあげている事例を地域に紹介し、防災ラジオの普及促進にもつなげる。

「答弁：地域振興部長」

提言 防災ラジオの補助制度を令和2年以降も継続をして頂くことを提言する。

水野ひろふみ 後援会事業

市政報告会

11月30日に益富交流館で市政報告会が開催され、鈴木雅博県議とタッグを組んで、市政・県政の報告をさせていただきました。今後も地域課題に取り組んで参ります。



マレットゴルフ大会

マレットゴルフ大会が気持ちの良い天候の中で開催されました。今年も美里・益富地区それぞれで開催できたことは本当に嬉しく思います。

後援会 親睦旅行

今年は、静岡浅間神社参拝と大井川鉄道SLの旅に行ってきました。初めてのSL乗車でしたが、皆さまの楽しんでいる姿を拝見し、私も一緒にゆったりとした一日を過ごさせていただきました。



地域行事

—お招きいただきありがとうございました—



もっと「見やすく」「分かりやすく」
<https://mizuno-hirofumi.jp/>
 パソコン・スマートフォンからアクセスした際に快適にご利用いただけます。

一般質問動画をご覧になれます。
 「水野ひろふみ公式サイト」で検索